

会 議 録

会議の名称	第2回 飯塚市地域情報化計画推進委員会
開催日時	令和6年8月2日(金) 15:00～16:00
開催場所	オンライン開催
出席委員	川原委員長、二摩副委員長、勝瀬委員、田村委員、平川委員、下原委員、伊藤委員、星野委員、中山委員
事務局職員	【業務改善・DX推進課】中嶋課長、上田課長補佐、仲村係長、福田
会議内容	<p>● 開会</p> <p>議事1 デジタル化の提案に対しての各課回答について 第1回委員会で提案いただいた「デジタル化の提案」について各課からの回答を説明する。</p> <p>● 「民間事業者(UberEats など)と連携した買い物支援共同事業」について 民間事業者において配送サービスが充実してきていること、協定書を締結して高齢者の見守りを行い、異変がある場合は通報する取り組みを行っているため「類似事業があるため実施しない」と担当課から回答あり。 ⇒委員：民間事業者の配送サービスの高齢者の利用率はどのくらいか。 ⇒事務局：担当課に確認し回答する。</p> <p>● 「小中学校におけるパソコン教室の機器及び環境等の有効活用」について パソコン教室のパソコンは教育機関向けサービスの契約となっており、教員研修やクラブ活動等で使用しているため設定変更は難しいため「実施しない」が、パソコンの有効活用については、各種講座等の取り組みが充実できるよう検討と担当課から回答あり。 タブレット端末13台の管理は生涯学習課が行い、6月から各交流センターに貸出を行っている。サークルなど生涯学習事業としてタブレット端末の使用を希望する場合は、交流センター担当者に申し出ていただくと職員が申請を行う。活用事例については、アンケートやプログラミングで活用している。</p>

● 「飯塚市における AI・DX 推進人材の育成」について

市内事業者向けの AI・DX 推進人材の育成については、高度 IT 人材の育成と技術力の強化を図ることを目的に(株)福岡ソフトウェアセンターを設置しており、同センターに交付している補助金の一部を活用して各種 IT 人材育成講座等を開催。また厚生労働省委託事業において「飯塚地域雇用創造協議会」を設置し、デジタル人材育成講座や DX リーダー育成講座等を開催しているため「類似事業があるため実施しない」と担当課から回答あり。

市内事業者向けの人材育成講座の告知については、福岡ソフトウェアセンターが行う人材育成講座のため行っていない。また、飯塚地域雇用創造協議会が行う人材育成講座の告知については、飯塚市が事務局のため公式 LINE で行っている。

市職員向けの AI・DX 推進人材の育成については、本市のデジタル人材の育成に向けて参考にさせていただきたいと考えていることを踏まえた上で、施策 1-4-2 で実施に向け取り組むため、「類似事業の見直しを行い、実施に向け取り組む」と担当課から回答あり。

● 「子ども医療費受給資格証のデジタル化」について

「実施に向け取り組む」と担当課から回答があったが、「類似事業の見直しを行い、実施に向け取り組む」が妥当と判断したので修正する。

● 「子育て支援に関する情報発信」について

「情報発信の在り方について(公式 LINE、ポータルサイトアプリ等について検討)」について「実施に向け取り組む」と担当課から回答あり。

「母子手帳アプリの導入」について「類似事業の見直しを行い、実施に向け取り組む」と担当課から回答あり。

⇒委員：子育て支援に関する情報は公式 LINE で市民の方も見られるようになっているのか。

⇒事務局：公式 LINE の中でセグメント配信ができるようになっており、子育て関連の情報がほしい方は選択をすると、その情報がメインで通知されるようになっている。また、公式 LINE の下部のタブの方でも子育て関連を充実させおり、タブからも情報収集できるようになっている。

⇒委員：公式 LINE でセグメントの設定をして情報をキャッチする仕方は今の若い世代には馴染みがないように思う。若い世代の情報収集の意見を聞きながら推進していただきたい。

⇒事務局:情報発信のあり方等については担当課と議論していきたい。

●「AIの学習データの整備」について

「実施に向け取り組む」と担当課から回答あり。

- 「デジタル化システムの導入による教員の研修の実施」について
統合型校務支援システムの導入に関して、導入年度(令和6年度)はシステム説明や導入・操作研修、2年目以降は操作研修等を計画しており、既存の事務事業「ICTを活用した教員の働き方改革の推進(統合型校務支援システム整備事業)」の成果指標に、研修の実施を追記するため「実施に向け取り組む」と担当課から回答あり。また、全ての市立小・中学校に、教員業務を支援する職員(スクール・サポート・スタッフ)を配置し、教員の業務軽減を図っている最中であり、提案いただいたコミュニティスクールディレクターの配置・導入については、組織体制づくりや予算確保等の課題があることから、現時点において予定はない。

⇒委員長:各課からの回答全体を通しての意見になるが、実施しないと回答があった事業に関して、全く実施しないわけではなく、関連箇所でも今後も検討はして行ってほしい。実施すると回答があった事業に対しては、第3回の委員会で具体的にどのように進めていくのか提示いただきたい。今年度から委員からのデジタル化の提案を実施しているが、来年度以降もこのような形で追加の施策があればご提案いただきたい。

議事2 令和5年度年間報告及び後期推進プランシートに対する質疑一覧

<各委員から出された主な質問・意見>

●「市民の情報リテラシー向上の取組」について

- ・各教室・講座用タブレット13台は生涯学習課が管理するイベントしか貸出できないのか。

⇒事務局:各交流センターで職員と一緒に行うイベントやサークル等の生涯学習事業においては交流センターからの申し出で貸出ができると聞いている。

⇒委員:教育委員会や交流センターの担当者へしっかり貸出方法など周知していただき有効活用を図っていただきたい。

その他(報告事項)

- ・ 地域情報化計画後期推進プランシートの修正について
- ・ 議事録のホームページ掲載について
- ・ 今後のスケジュール確認

全体を通してのご意見

委員：推進プランシートの委員からの意見に対する各課回答について、決裁して回答しているのかお伺いしたい。また、電子決裁の推進の観点から、この委員会に関連する各課回答等は電子決裁で行うようにしたら推進できると考え提案させていただく。

⇒事務局：正式な委員会での回答となるため、決裁は課長まで行われているという認識でいる。

委員：大学生がいることがこの委員会の魅力だと思う。若い世代の意見がDXを推進するために重要になってくるので、積極的な意見を述べていただきたいと思う。

委員長：次回の委員会で意見をいただけたらと思う。

● 閉会